



【目次】

- 1 地震と津波への備え（住宅耐震化・家具固定・津波避難）を地域で呼びかけましょう。
- 2 「愛媛県自主防災組織・防災士連絡調整会ブロック会議」を開催しました！
- 3 「えひめ防災フェア」を開催しました！
- 4 「えひめ自主防災フォーラム」を開催しました！
- 5 「シェイクアウトえひめ」を実施しました！
- 6 県の防災メール・防災アプリ・SNSで防災情報をゲット！
- 7 県からのお願い・本紙のお問い合わせ先

はじめに

元日に発生した能登半島地震では、津波、地盤の沈下や隆起、液状化などが確認されたほか、建物の倒壊、交通遮断、断水、津波浸水の危険により十分な消火や救助活動ができなかったことなどにより被害が拡大しました。発災から2か月以上が経過してもなお、9千人を超える（3/15時点）被災者が避難生活を余儀なくされています。愛媛県では、県・市町で連携してチームを編成し、1月6日から順次職員を派遣して、石川県輪島市や珠洲市の災害対策本部運営支援や避難所運営の支援等に努めているほか、被災地から要請のあったトイレカーの派遣、シャワーや手洗い設備の貸与等にも取り組んでいます。



家屋倒壊



津波



地盤沈下（液状化）



大規模火災



トイレカー派遣



シャワー設備派遣

【1】地震と津波への備え（住宅耐震化・家具固定・津波避難）を地域で呼びかけましょう。

本地震では、「家屋の倒壊」が死因とされた方が多数を占めていると言われています。

まずは、揺れによる被害から命を守るため、「住宅の耐震化」や「家具の固定」が大切です。

また、津波による被害も発生しています。津波は、高台（一時避難場所等）へ逃げれば命が助かります。自宅や職場に津波浸水のリスクがあるかハザードマップで確認するとともに、地域の訓練に積極的に参加しましょう。

【共助による自助の推進】

右図の「4つのポイント」について、地域で話し合い、再確認してみましょう。

地震と津波から命を守る

令和6年能登半島地震では、揺れによる家屋等の倒壊や津波による甚大な被害が発生しています。

備えの再確認を！

住宅の耐震化



家具の固定



津波が来る場所・高さを確認（ハザードマップでチェック!）



揺れをしのいだら、すぐ高台へ避難



【2】愛媛県自主防災組織・防災士連絡調整会ブロック会議を開催しました！

県内の各地域（地方局・支局単位）において、防災知識習得につながる講演や、地域における共通する課題の解決に向けた意見交換等を行うため、「ブロック会議」を下記のとおり開催しました。

(1) 開催実績

ブロック	日時	場所	内容	参加数
東予	2/22（木） 14：00～	東予地方局 7階	講演・ワールドカフェ	35名
今治	2/9（金） 14：30～	今治市役所 11階	同上	28名
中予	2/16（金） 14：00～	NOSAI えひめ 5階	同上	57名
南予	1/29（月） 14：00～	南予地方局 7階	同上	45名
八幡浜	2/15（木） 14：00～	八幡浜支局 7階	同上	65名

(2) 会議内容

- ・講演「顕著な大雨に関する気象情報について」 講師：松山地方気象台
- ・意見交換（ワールドカフェ方式） 議題「防災意識の向上と訓練への参加促進について」

(3) 参加者

- ・自主防災組織、防災士、学校関係者、民間企業関係者、自治体職員

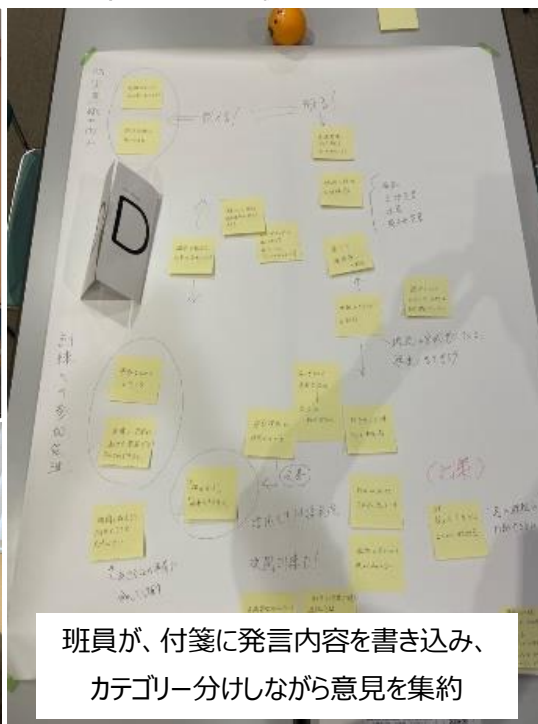
(4) ワールドカフェにおける主な意見

<防災意識の向上>

- 防災のハードルを下げる
 - ・簡単な地域の行事等から仲間を増やしていき、地道に「地域」や「防災」について知ってもらうことが大切
- 小中学生の防災教育
 - ・防災士（まず資格を取得してみる）や自主防災組織を活用し、子供→家庭→地域に波及させる

<訓練への参加促進>

- 訓練規模の検討やターゲティング（子供でも参加しやすい行事に）
 - ・クイズや炊き出し等、訓練ではなくイベント化することや景品を準備すること。学校では避難訓練で、親への引き渡しまでを一連の流れにしており、大人も参加が必須となっている。
 - ・高齢者の訓練参加は難しいので、集会所単位など、小規模でやることも大事
 - ・地域の専門職（自衛隊、警察、消防、医師、看護師など）OB・OGに協力を仰ぐ



班員が、付箋に発言内容を書き込み、
カテゴリー分けしながら意見を集約

※上段：気象台による講演、下段：ワールドカフェ、右：ワールドカフェ成果（模造紙）

【3】「えひめ防災フェア」を開催しました！

子供からお年寄りまで広く防災について楽しく分かりやすく学べるプログラムを通じて、人的被害の軽減に最も効果がある「住宅耐震化」や「家具の固定」、「家庭備蓄」等をより一層促進し、家庭における日頃の備えの充実を図ることを目的に開催しました。

(1) 日 時

防災デジタルスタンプラリー	令和5年11月5日(日) ～12月23日(土)	県内の協力店舗
体験イベント	①11月5日(日)	フジグラン北宇和島
	②11月19日(日)	エミフルMASAKI
	③11月23日(木・祝)	イオンモール新居浜

(2) 協力店舗 32店舗

(イオンモール新居浜・エミフルMASAKI・フジグラン北宇和島・フジグラン北浜内に所在するテナントほか)

(3) 参加対象 一般県民等

(4) 主な内容

《体験イベント》

- ・教えて！防災士さん！体験・学習コーナー（日本防災士会愛媛県支部）
- ・オシャレな防災グッズ作り（NPO法人うわじまグランマ）
- ・VRで疑似体験！（南海放送）
- ・津波避難VRバーチャルみかめ（愛媛大学）
- ・降雨体験車コーナー（県砂防課）
- ・車中泊を学ぼう！（愛媛トヨタ・愛媛トヨペット）
- ・防災コスチュームを着たみきゃんと写真撮影会

《防災デジタルスタンプラリー》

- ・楽しみながら「防災」のヒントが学べるスタンプラリー
- ・協力店舗に設置したQRコードを1つ読み取ることで応募が可能とし、参加者の裾野を拡大
- ・応募時に「防災ショート動画」を視聴することで、多くの方が防災豆知識を学べる仕組み

【参加者の声】

- ・車いす体験等貴重な体験ができ、勉強になった。
- ・買い物ついでに家族全員で体験することができた。

<体験イベントの様子>



【4】「えひめ自主防災フォーラム」を開催しました！

えひめ防災週間（12月17日～23日）の主要行事として、県下の自主防災組織関係者や防災士等が、最新の防災知識や技術、先進事例等の習得、共有を行うとともに、相互の連携を強化し、自助・共助の一層の推進を図ることを目的に開催しました。

- (1) 日 時 令和5年12月21日（木） 14:00～16:00
- (2) 開催方法 オンライン併用 分散開催（主会場：愛媛県中予地方局）
- (3) 参加者 自主防災組織関係者、防災士等 約300名
- (4) テーマ「自主防災活動の活性化と防災士の活躍」
- (5) 主な内容

- 講演「自主防災活動の活性化と防災士の活躍」（愛媛大学防災情報研究センター 二神副センター長）
- パネルディスカッション

コーディネーター：二神副センター長（愛媛大学防災情報研究センター）
パネリスト：伊藤 伸武（防災西条ネットワーク 会長）
林 昭子（宇和島NPOセンター）
宇高 充希（防災リーダークラブ 代表）
井上 敦人（西予市社会福祉協議会 地域福祉課長）

皆さまご参加いただき
ありがとうございました！

- (6) パネルディスカッションで議論された主な内容
 - ・さまざまな立場で防災に関わる団体の活動について（事例発表）
 - ・各団体と自主防災組織の連携状況（現状・課題）
 - ・自主防災活動の活性化に向けて、「防災士」資格取得者に期待すること
- (7) 詳細は下記からご確認いただけます。

[えひめの防災ポータル]えひめ自主防災フォーラムについて

<https://www.pref.ehime.jp/site/bousai/48545.html>



上記では、(株)愛媛CATV制作協力による当日の映像や資料などがご覧いただけます。

<当日の様子>



シェイクアウト訓練



二神副センター長による講演



パネルディスカッション

【5】「シェイクアウトえひめ」を実施しました！

大規模地震発生時の安全確保行動の確認や防災意識の向上を図るため、県民総ぐるみの地震防災訓練として、12月18日（月）11時から県下一斉に実施した「シェイクアウトえひめ」は、**308,103人（1,215団体）**もの方にご参加いただきました！

また、シェイクアウト訓練に併せて津波避難訓練等のプラスワン訓練も**全体の半数を超える170,281人（575団体）**の方に実施していただきました！

当日は、県・県関係団体の職員等が参加し、各庁舎等において1分間程度、「まず低く、頭を守り、動かない」の安全確保行動をとるとともに、より実践的な訓練とするための**プラスワン訓練**として、防災メールを利用した職員の**安否確認操作訓練**を実施しました。



下灘小学校でのシェイクアウト訓練

また、宇和島市立下灘小学校では、**防災みきゃんも参加しての防災教室を実施**し、地震から自分の命を守るための備えについて学習しました。

このほか、市町においても、全市町が訓練に参加し、HP や広報誌への掲載等を通じて住民に訓練実施を呼び掛けるなど、県と市町が連携し、文字通り「**県民総ぐるみ**」で**訓練を実施**しました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました！

【6】県の防災メール・防災アプリ・SNSで防災情報をゲット！

愛媛県の防災情報は、携帯電話やスマートフォンでも提供しています。
どなたでもご利用いただけますのでぜひご利用ください。

愛媛県防災メール

携帯電話やパソコンに電子メールで配信する、登録制メールサービスです。
スマートフォンをお持ちでない方でもご利用いただけます。

▼利用の始め方

空メール (bousai.ehime-pref@ehime-pref.ktaiwork.jp) を送信し、自動返信されるメールから御登録ください。

(注意) 自動返信メールが届かない場合は、ドメイン名「bosaimail.jp」からの URL 付きメールが受信できるよう、携帯電話の受信設定を確認・変更し、再度空メールを送信してください。

詳しくは、詳細ページへ <https://www.pref.ehime.jp/bosai/bosaimail.html>



空メール送信先
アドレスのQRコード

防災アプリ (Yahoo!防災速報)



防災に役立つ機能が充実！

緊急地震速報などさまざまな情報をプッシュ通知！

災害マップ、防災手帳、防災タイムラインなど利用可能！

詳しくは、[詳細ページ](#)へ

https://www.pref.ehime.jp/h15350/yahoo_bousai.html

※Yahoo! 防災速報では、愛媛県とヤフー(株)が締結している協定に基づき、愛媛県からのお知らせが配信されます。



QRコードより無料で
ダウンロードできます

愛媛県防災SNSを開設しています！

県内の気象警報・注意報や土砂災害警戒情報などの災害情報の他、防災啓発情報などを配信します。

Twitter @EhimeBousai <https://twitter.com/EhimeBousai>

Facebook 愛媛県防災 <https://www.facebook.com/EhimeBousai>

Instagram @ehimekenbousai <https://www.instagram.com/ehimekenbousai/>

▼注意事項

いずれも無料でご利用頂けますが、通信に要する費用（パケット料）は、ご利用される方の負担となります。

▼お問合せ

愛媛県 県民環境部 防災局 防災危機管理課 防災情報係

TEL 089-912-2318

FAX 089-941-2160

Mail bousaikikikanri@pref.ehime.lg.jp

【7】県からのお願い・本紙のお問い合わせ先

県では、みなさんの地域での防災に関する取組みを紹介することで、自主防災組織や防災士の認知向上及び自主防災活動の活性化を図りたいと考えています。

あなたの地域での防災に関する取組みなどについて、教えてください。

▼募集内容

- あなたの地域でのユニークな防災活動に関すること（活動している人・防災訓練・自主防災組織など）
- 自主防災組織の取組事例

○こんな事で困っている、苦労している点または質問 など
※掲載資料、写真データの提供もお願いします。

▼お問い合わせ、情報提供および本ニュースレターについてのご意見は、
下記までお願いします。

愛媛県 県民環境部 防災局 防災危機管理課 南海トラフ対策グループ

TEL 089-912-2325

Mail bousaikikikanri@pref.ehime.lg.jp

▼愛媛県HPでの防災情報はこちら

えひめの防災ポータル



<https://www.pref.ehime.jp/h15350/bosai-portal/index.html>

